

EX・POTS 2011-2013

撮影：山田亘

BREAKER PROJECT EX・POTS 2011-2013

大阪府立江之子島
文化芸術創造センター [enoco] 1F
2014年2月15日[土]～3月2日[日]

※月曜休館 11:00-19:00 (最終日は17:00まで)
料金：一般 300円／高校生以下 無料
[共催] 大阪府立江之子島文化芸術創造センター [enoco]



撮影：呉夏枝

江之子島文化芸術創造センターでは、西成区の山王エリアにて長期的にプロジェクトを行ってきた呉夏枝と山田亘の2名のアーティストによる展覧会を開催します。言葉にできない「沈黙の記憶」を想像し、未来へとつないでいく装置として作品をつくる呉と、記憶を語り／聞く行為自体を創造的な行為と捉え、そこから生まれる物語を新聞として記録する山田。それぞれのアプローチは異なりますが、大文字の歴史では取り上げられることのない、日常のなかの「個人の記憶」に焦点をあてた活動／作品を発表します。

山田亘 「西成なるへそ新聞」

山田亘によるプロジェクト「西成なるへそ新聞」は、2013年3月よりスタートし、一般公募により集まった有志による編集メンバーとともに、取材・制作・発行を行う編集ワークショップを3週間毎に実施し、約10ヶ月かけて全25号を発行しました。「新聞は街だ」と山田が言うように、様々な時代が混在する紙面上の記事は、まちの区画や家のように扱われ、新しい記事を入れる際には、古い記事を取り壊し(切り取って)一旦「空き地」にしてから、新たな誌面がつくれるという点がこの新聞の特徴です。各号では、個人の記憶にもとづいて語られたエピソードが記事となるほか、住民による連載コーナーもあり、発行された新聞はまちなかに毎回設置され、山王周辺のエリアにて愛読され浸透しています。本展では、新聞全号の展示のほか、今回のプロジェクトに関連する資料や山田がこのエリアで撮りためた空き地の写真などを展示します。これまで語られることのなかった個人々の記憶から新たな地域像を再発見する機会となれば幸いです。

呉夏枝 「光のけはい、ゆらめく影」

「語られなかった記憶」「言葉にできない記憶」について探求し、織る／ほぐす／結ぶという手法で作品制作を行ってきた呉は、今回、西成区山王地域において、2年半かけて制作に取り組んできた作品を発表します。本作品は、家庭のタンスに眠る編み物と、編み物にまつわる地域の女性たちのストーリーを集めるリサーチとしてのワークショップ「編み物をほぐく／ほぐす」からスタートし、100着におよぶ編み物を地域の方と協働作業でほぐくというプロセスを経て、インスタレーション作品へと結実します。本作品のリサーチと制作の拠点となったkioku 手芸館「たんす」においても、呉の作品展示と活動の紹介を行いますので、両会場でご覧ください。

BREAKER PROJECT EX・POTS 2011-2013

まちなか会場① kioku 手芸館「たんす」
2014年2月16日[日]～3月2日[日]
3月7日[金]～9日[日]

※月曜休館 13:00-19:00 料金：無料



撮影：草本利枝

呉夏枝のリサーチと制作の拠点となったスペース「たんす」の2Fでは、[enoco] 会場と対となるインスタレーション作品を発表します。また1Fでは「たんす」での活動から派生した、「編む」ワークショップの参加者によって編まれた〈ニットキャップ人形〉を展示するほか、会期中の木曜日は、ひき続き編み物にまつわるワークショップを行います。

呉夏枝 ワークショップ「編み物をほぐく／ほぐす」、kioku 手芸館「たんす」

ワークショップ「編み物をほぐく／ほぐす」は、呉のリサーチの一環として、山王のデイケアセンター・みどり苑との連携で2012年2月にスタート。地域の方からいただいた編み物をほぐき、毛糸にやどる個々の記憶を掘り起こすとともに、新たな作品へと再生するための素材づくりを地域の方たちと協働で行ってきました。同年12月には、ワークショップをより日常化するため、空き店舗だった元・鈴木タンス店を改装し、呉のコンセプトスペース／ワークショップ工房／展示ギャラリー〈kioku 手芸館「たんす」〉としてオープン。週2回の編み物にまつわるワークショップを通して、地域の女性たちが集い、語る場をつくって来ました。本ワークショップの過程で出会った〈ニットキャップ人形〉は、「編む」プロジェクトへと発展し、地域を越えた拡がりを見せています。

BREAKER PROJECT EX・POTS 2011-2013

まちなか会場② 大阪市西成区山王一带

2014年2月22日[土]、23日[日]、28日[金]、
3月1日[土]、2日[日]、7日[金]、8日[土]、9日[日]

出発受付時間：14:00-16:00 (開催時間は18時まで)
※鑑賞時間はお一人2時間となります。



撮影：松尾守人

出発場所：山王郵便局横空き地
料金：1,000円
定員：各日50名 ※要申込(受付開始：1月20日)
申し込み方法
①参加日②氏名③電話番号④参加人数 を明記のうえ
[メール] info@breakerproject.net まで、お申し込みください。

梅田哲也 「Oオ」

2011年に築60年の木造アパート「新・福寿荘」の空間全体を使った作品を制作した梅田哲也による新たなプロジェクトでは、西成区・山王のまちを舞台に、日常の風景のなかに作品と偶然とが混在する状況を遊覧しながら体験する展覧会に取り組みます。鑑賞者は、出発地点となる空き地から、それぞれに設定した2時間のなかでバラバラのルートをつどりながら、点在する空き家など3カ所+αのメイン会場を巡っていきます。

ゲスト

會田洋平、アキビンオオケストラ、振子びじん、
ハイネ・アヴダル & 篠崎由紀子、松井美耶子、渡邊寿岳 (五十音順)

EX・POTS 2011-2013

参加アーティスト：

梅田哲也 呉夏枝 山田亘 大友良英



地域密着型のアートプロジェクトとして2003年より活動するブレーカープロジェクトは、2011年より3年間の継続プログラムとして、梅田哲也、呉夏枝、山田亘、大友良英の4名のアーティストと共に西成区山王を拠点に創作活動に取り組んできました。2月から3月にかけて行うコンサート及び展覧会は、各プロジェクトの集大成となります。それぞれの取り組みでは、地域の方々の協力や参加を得て、予期せぬ出会いや出来事が連鎖していくなかで、活動はゆるやかに流動しながら深化していきました。そういったプロセスからどのような作品へと結実／昇華するのか、多くの皆様にご覧いただければ幸いです。

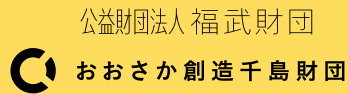
Breaker Projectとは

ブレーカープロジェクトは大阪市が推進する文化事業として、2003年より浪速区・新世界からスタートし、西成区へもエリアを広げながら継続して活動する地域密着型のアートプロジェクト。既存の枠組みにとらわれず、独自の表現手段を開拓するアーティストともに、まちの中に創造の現場を生み出し、地域の人々と様々な関わりをつくりながら、「芸術と社会の有効な関係」を再構築していく取り組みです。地域に根ざした創造活動の実践を通して、芸術文化の振興を図ると同時に、地域に潜在する価値を掘り起こし、創造的で多様な個が共存する地域社会の創出を目的としています。2011年からは、西成区山王の木造アパート〈新・福寿荘〉を地域に根ざした創造活動拠点とし、2012年には同地区の元・たんす屋を改装し〈kioku 手芸館「たんす」〉をオープンするなど、地域資源を活用した「創造の場」の実験や、住民による地域コーディネーターとの連携・協力にも積極的に取り組んでいます。
<http://breakerproject.net/>

お問い合わせ

ブレーカープロジェクト事務局
Tel: 070-5046-8667
E-mail: info@breakerproject.net

- [主催] ブレーカープロジェクト実行委員会
- [助成] 財団法人地域創造 公益財団法人福武財団 一般財団法人おおさか創造千島財団
- [協力] 山王連合振興町会／社会福祉法人山王みどり会 山王女性会／荻鶴会／飛田地区商店街連合 飛田新地協同組合／飛田新地料理組合 飛田連合振興町会／元鈴木タンス店 大阪市立大学 都市研究プラザほか 作品制作に協力いただいた皆様（順不同）
- [制作協力] POS 建築観察設計研究所
- [ディレクター] 雨森信
- [プログラムディレクター] 内山幸子・柳本牧紀
- [事務局] 松尾真由子



同時開催

大友良英「子どもオーケストラ」コンサート

日時：2014年2月11日（火・祝）15:30～17:00（15:00開場）
会場：西成区民センター 1F（地下鉄四つ橋線「岸里駅」②出口東へ1分）
出演：大友良英、今池こどもの家、南津守小学校、他西成区内の子ども達、河辺知美、横沢道治、PIKA ☆
料金：500円 定員：約200名（事前申込不要／自由席・先着順）
詳細はwebサイトまたは別チラシをご覧ください
<http://breakerproject.net/>

山田亘 空き地ツアー＋トーク

「西成なるへそ新聞」で主に取材を行った西成区・山王エリアの「空き地」を巡りながらまちを歩くツアーと、1年間の編集ワークショップを振り返るトークを編集長・山田亘のナビゲートで開催します。
日時：2014年2月16日（日）14:00～16:00
会場：新・福寿荘（大阪市西成区山王1-5-31）
料金：無料 定員：15名（要申込・先着順）
申込先 E-mail：info@breakerproject.net

呉夏枝 ギャラリートーク

染織の技法を用いて語られなかった記憶や時間の存在を浮かび上がらせる作品を制作してきた呉。本トークでは、伊藤俊治氏から想像力と記憶の再創造の場についてメモリアル・ミュージアムの視点から語っていただくとともに、呉の本作品と2年半におよぶリサーチと制作活動について、対話形式でお話しいたします。
日時：2014年3月1日（土）18:00～19:30
会場：kioku 手芸館「たんす」
ゲスト：伊藤俊治（美術史家／東京藝術大学先端芸術表現科教授）
料金：無料 定員：30名（要申込・先着順）
申込先 E-mail：bp.tansu@gmail.com

アーティストプロフィール

山田亘（やまだ・こう）

写真家／美術家。愛知県在住。1993年州立オハイオ大学大学院芸術学修士MFA（写真）。日本紙媒体学会常任理事。写真を中心に媒体を意識した作品を展開、特に新聞等の紙媒体の構造をベースにしたプロジェクト作品に力を注いでいる。近年の主な展覧会に2013年「ファン・デ・ナゴヤ美術展2013のこりもの」（愛知）、2011年「Berliner Naruheso Weltzeitung（ベルリンなるへそ世界新聞）」DMY 国際デザインフェスティバル（ドイツ）、1998年「MEDIALOGUE」東京都写真美術館他、国内外での展覧会多数。
<http://www.umbilicalsites.com/>

呉夏枝（お・はち）

美術家。大阪府在住。京都市立芸術大学美術研究科博士号取得。主に染織、刺繍、編む、結ぶなどの技法をつかって作品を制作。音声、写真を使ったインスタレーション作品なども展開している。近年の主な展覧会に、2013年「針々（しんしん）」と、「たんたん」と国際芸術センター青森（青森）、2012年「VOCA展2012」上野の森美術館（東京）、2011年「Inner Voices-内なる声-」金沢21世紀美術館（石川）、2010年「やっぱり本が好き！国際ブック・アート・ピクニック」中之島図書館（大阪）他。
<http://hajioh.com/>

梅田哲也（うめだ・てつや）

美術家。大阪府在住。時間と空間を基調に、建築構造から観客の行動まで、とりまく状況全般を素材とした体験型のインスタレーションを展開。既存の展示空間のみならず、都市空間や自然のなかでサイトスペシフィックな作品も多く手掛ける。近年の主な展覧会に、2013年「十和田奥入瀬芸術祭」水産保養所（青森）、2012年「Double Vision: Contemporary Art from Japan」モスクワ市近代美術館（ロシア）／ハイファ美術館（イスラエル）など。国内外のパフォーマンスや音楽のフェスティバルにも多数出演する。
<http://www.siranami.com>

連携企画

新・福寿荘

「アートスペースジューソー / #13」展覧会

創造活動拠点「新・福寿荘」内に、2013年5月にオープンした谷川恵子主宰する「アートスペースジューソー / #13」こちらのスペースでも展覧会を開催しています。
[出展作家] 松尾 宇人
会期：2014年2月22日（土）～3月23日（日）
[出展作家] mizutama
会期：2014年2月22日（土）～2015年1月25日（日）
詳しくはwebサイトをご覧ください
<http://www.artspace13.com>

トークイベント

「10年後の大阪～“地域×アート”の未来を描く」

日時：2014年3月7日（金）18:00～20:00
場所：西成区役所 4F 会議室
パネラー：芹沢高志、西尾美也、おかけんた、柴生謙一、雨森信 司会：菅谷富夫
主催：大阪新美術館建設準備室
共催：西成区役所、プレーカープロジェクト実行委員会
詳しくはwebサイトをご覧ください
<http://breakerproject.net/>

